

H I C 通信



ひろしま留学大使修了式

目次

P2 県内留学生が紹介「私の国と日本」

P3 事業報告
交流部

P8 留学生インタビュー

P9 研修部トピックス

P10 コラム
Hello Hiroshima

P11 JICALレポート
こちら JICA 中国

私の国と日本

スリランカ編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます!



留学生紹介

ティサラ ルワンティさん

はじめまして。スリランカ出身のティサラ ルワンティと申します。安田女子大学大学院文学研究科日本語学・日本文学専攻の2年生です。シンハラ語と日本語のオノマトペの対照研究をしています。日本に来て3年になります。これまで、日本でたくさんの経験をしてきました。困難なことや失敗もありましたが、「七転び八起き」の精神で頑張り続けています。



スリランカはどんな国?

スリランカは、インド洋に浮かぶ島国で、インドの南に位置しています。美しい砂浜や山、熱帯の森が広がり、自然が豊かです。シーギリヤ・ロックやピンナワラ象園など、観光名所もたくさんあります。また、スリランカの紅茶はセイロンティーとして広く知られており、世界中で非常に人気があります。



ピンナワラ象園の象たち

スリランカの料理

スリランカの食べ物は、スパイスを多く使った風味豊かな料理が特徴です。米とカレーを中心に、ココナッツや野菜、魚などがよく使われます。スリランカの主食は米で、カレーと一緒に食べます。カレーは鶏肉、豚肉、牛肉、魚、野菜などを使い、クミンやコリアンダー、ターメリックなどのスパイスがたっぷり加えられ、濃い味とピリッとした辛さが特徴です。



チキンカレーなどいろいろなおかずをごはんと一緒に

スリランカの果物

スリランカは熱帯気候で、さまざまなおいしい果物が育っています。ジャックフルーツはスリランカの人気の果物で、大きくて重い実をもち、甘くて香り豊かな味が特徴です。果肉は甘く、種は調理して食べられます。カカオはチョコレートを作るための材料ですが、カカオの実そのものもスリランカで栽培されており、果肉は甘酸っぱい味がします。



ジャックフルーツ



カカオの実

時間を守るのも大切です

日本に来てから一番困ったことは、時間を守ることでした。日本で初めてのアルバイトの面接の際、「朝9時に来てください」と言われたので、9時1分に到着しました。しかし、そのとき怒られてしまいました。次の日、ちょうど9時に到着したところ、また怒られてしまいました。「なぜだろう」と困惑した気持ちになっていると「9時に来てくださいと言ったら、5分から10分前に来るのが常識です」と教えてくれました。びっくり。

電車の中もすごいよ

初めて日本の電車に乗って見たら驚きました。誰も大きい声で話さない。携帯で話さない。とても静かでした。お寺のような雰囲気です。電車の中で携帯を触る人、寝ている人、本を読んでいる人ばかりです。大事な電話がかかってきたけど、電車の中ですので電話に出られなくて、困ったこともあります。

ごみはどこ?

一番驚いたのは、日本のごみの分別の仕方です。ごみの分け方がわからなくて困ったこともありました。また、ごみを出す時間にも曜日にも決まりがあり、最初はそれを間違ったため、何度もごみを出す機会を逃してしまいました。さらに道路を歩いたらとてもきれいです。きれいに保たれた道路は、人々の心を映し出す鏡のようです。すごいよね。

なんでこんなにたくさんオノマトペを使うの?

ある日頭が痛くて病院に行ったら、お医者さんは、「ズキズキ痛いですか、ガンガン痛いですか」と言いました。私は「へえっ」とびっくりしました。日本語と宇宙人の言語を混ぜて話してみたいです。後で、これはオノマトペだとわかりました。なんで日本人はこんなにたくさんオノマトペを使うの? 日本人はかわいいものが好きだから? 不思議です。

さいごに

日本語のオノマトペには音と意味の関係がありますが、スリランカ語のオノマトペにも同様の関係があるかどうかを探るのが今後の目標です。大学を卒業した後は、日本とスリランカの間を懸け橋できるような仕事に就きたいと思っています。また、卒業式には両親を日本に招待し、日本の美しい場所をいろいろと見せてあげたいです。

「2024 ひろしま留学大使」 の活動を報告します!

Hiroshima Study
Abroad Ambassador



広島県内の大学等に通う留学生25名が「ひろしま留学大使」となって、2024年8月から約半年間、SNSでの広島留学の魅力発信や、地域団体のボランティア活動などを通して地域の方々との交流や地域貢献を目指す活動に取り組みました。

3月9日(日)には修了式を開催し、修了条件を満たした大使に修了証を授与しました。その後は着物の着付けを体験し、縮景園を散策しました。活動を通じて親しくなった大使同士で思い出話をしながら和やかなひとときを過ごしました。

ひろしま留学大使の皆さん、お世話になった地域団体の皆様、コーディネーターの合同会社ひとむすび様、ありがとうございました!



修了式(修了証を持って)

SNSでの情報発信

大使個人のSNSアカウントを利用して、月ごとのテーマに沿って普段の暮らしや学生生活、広島ならではの体験エピソードなどを発信しました。

地域のボランティア活動やイベント参加

合同会社ひとむすび様の協力のもと、地域貢献を目指し各自でさまざまなボランティア活動やイベントに参加しました。10月19日(土)と2月22日(土)に開催した研修では、各自の活動内容を振り返り、工夫したことや感想、来年度の大使に向けてのアドバイスなどをレポートにまとめ、成果発表を行いました。「日本で暮らす外国人の悩みや日本人の価値観を知るいい機会だった」「国際交流は難しいものではなく、楽しいことを一緒にすることから始めたらよいと知った」との感想があり、なにより、地域の方々との交流が大使にとっては貴重な経験となりました。

活動レポートは
こちらから



ナイトマーケットでの運営ボランティア



ひろしま農育プロジェクトでの森の整備ボランティア



活動内容や感想をメンバーと共有



活動成果発表の様子



研修お疲れさまでした!

日本文化体験

茶道や着物の着付けといった日本文化の魅力に触れる体験をしました。



茶道体験



着物の着付け体験

ひろしま留学大使にインタビュー



ジャマイカ出身
広島大学 大学院

Kelroy Brownさん

HSAA allowed me to learn more about Hiroshima and socialise with locals outside my university. I enjoyed my time and participated in many activities from volunteering to disaster preparedness. I would not have had these great experiences otherwise.



ブラジル出身
福山大学

Une Fernandes Crystian Akiraさん

広島県の魅力を知るとともに地域との交流、さらにそれに携わる他の留学生との繋がりを求め、応募しました。そして実際に活動して、広島県の多彩な場所に赴き、地域の人達の温かさに触れながら、色んな国の価値観や考えを知ることができました。研修においても勉強になることばかりでした。この活動では社会への貢献ができるとともに人間として成長できたと思います。



中国出身
比治山大学 短期大学部

楊 小静さん

広島での生活を通じて、その魅力を実感し、母国である中国や世界へ広めたいと思い、ひろしま留学大使に応募しました。また、さまざまな活動を通じて、日本文化への理解が深まるだけでなく、他国の留学生や地域の方々との交流を経験できたことで、今後の日本での生活にも役立つ貴重な有意義な体験ができたと感じています。



交流部

Report 2 相手の気持ちに寄り添う「対話」について学びました

ワンペア日本語学習支援ボランティア登録者向け講座を2週にわたり実施しました。10月20日（日）に「やさしい日本語」講座でやさしい日本語について学んだ後、10月27日（日）に「外国人住民の『声』を聴く」を開催し、実際にゲストとしてお迎えした外国人住民と交流する中で、対話に必要な心遣いや言葉の使い方をやさしい日本語を使いながら実践しました。2回の講座を通して、対話の重要性や相手に寄り添う姿勢など、ワンペアの活動で必要となるボランティアの役割について学びました。

受講者からは、「実際に外国人の方と話すことで、相手の背景を考えながら話すことが大切だなと実感できた」「まずはあいさつだけからでも実際に外国人の方に声をかけ、お話をしてみることが大切なんだと感じた」などの嬉しい声を聴くことができました。

ワンペア日本語学習支援ボランティアは随時募集中です！
興味・関心のある方は、こちら(HIC公式HP)から詳細をご覧ください▶



「外国人住民の『声』を聴く」受講の様子

交流部

Report 3 医療通訳スキルアップ研修「HIC医療通訳研究会」を開催しました

1月12日（日）、HIC医療通訳ボランティアの登録者を対象に、通訳現場で困ったことや日頃から疑問に思っていることなどを話し合う「医療通訳研究会」を会場とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。

テーマは「医療通訳の現場で～それぞれの立場から～」と題し、講師には、医療現場で対面・遠隔・アプリでの通訳を利用したことのある岩本眞理医師、医療通訳士（英語・本田氏、ポルトガル語・岩本氏）、通訳派遣を調整する矢島コーディネーターにご来場いただき、普段なかなか聴く機会のない外国人医療の現状や、医療通訳に関する貴重な経験談を講義いただきました。ボランティアの皆さんは、今後の活動に役立てようと熱心に聴くとともに、活発な意見が交わされました。



講師は4名、左から矢島行子氏、岩本眞理氏、本田友善氏、岩本弥生氏

交流部

Report 4 外国人住民等のための出張相談会を開催しました

ひろしま国際センターの外国人相談窓口の専門相談員（行政書士、社会保険労務士、弁護士又は司法書士、通訳者）が県内市町に赴き、外国人住民等の皆様からの相談を対面でお受けする「外国人住民等のための出張相談会」を開催しました。今年度は、神石高原町、三次市、廿日市市の3市町で開催し、この写真は2月1日（土）廿日市市民活動センターでの出張相談会の様子です。（相談風景は撮影できないため、受付の様子になります。）当日は4名の外国人が来場されました。

また、この施設には「はつかいち外国人相談センター」が置かれており、当日はセンター長や相談員の皆様とも、相談対応の方法等について情報交換をしました。



受付の右手に相談ブースがあります

ひろしま国際センターでは、下記のとおり外国人相談窓口を開設しています。相談は無料、日本人からの代理相談も可能です。ぜひご利用ください。

外国人相談窓口のご案内

外国籍県民が安心して生活し、活躍できる多文化共生社会を実現するため、多言語で対応できる外国人のための相談窓口を開設しています。フリーダイヤル相談は対面または電話で行います。

フリーダイヤル (通話料無料) **0120-783-806**

対応言語
英語、韓国語、中国語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ウクライナ語

一般相談（暮らしに関すること）
月～金曜日 10時～19時
土曜日 9時30分～18時

専門相談（在留資格・社会保険・労働・法律問題など）
木曜日・土曜日 10時～16時
毎月第4木曜日 14時～19時

祝日、12/28～1/4を除く

Report 5 「HIC世界体験デー」で楽しく国際交流

11月3日（日・祝）、ひろしま国際センターで、異文化理解や国際交流を目的としたイベント「HIC世界体験デー」を開催しました。外国の歌・踊り・楽器演奏などを楽しめるステージ、外国の文化が学べるワークショップ、外国人と自由にお話できるブースなど、多彩な催しを実施しました。

外国人とのおしゃべりブースやステージでは、留学生をはじめ県内在住の外国人の方々にもご協力いただき、また、日本人学生ボランティアの皆さんも一緒にイベントを盛り上げてくれました。お子様から大人の方まで約160名の来場者が世界の文化に触れ、国際交流を楽しんでいただけたイベントとなりました。

次回のHIC世界体験デーも、さまざまな企画で皆様に楽しい異文化体験をお届けしますので、ぜひご期待ください♪

11組の出演者が各国の歌や踊りを披露

芸能披露
ステージ



留学生による中国の歌唱披露



キリバスの紹介とダンス披露



フィリピンの音楽



ネパールのダンス

8カ国のブースで外国人と文化紹介などを通じて国際交流

外国人とのおしゃべり
ブース



母国の文化やゲームを紹介（シリア）



「タッチチギ」で対戦中！（韓国）



ゲルや食べ物を紹介（モンゴル）



アオザイ体験（ベトナム）

外国の文化体験ワークショップ、民族衣装展示・試着コーナー

ワーク
ショップ
他



韓国「新羅」の王冠づくり



タイのカービング体験



今年の干支「巳」のちぎり絵に挑戦



民族衣装を試着して記念撮影📷

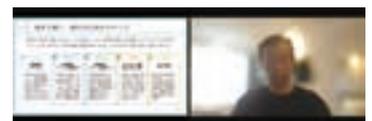
Report 6 “海外で働くこと”を決めた私の体験談

10月19日（土）、第2回グローバルキャリアセミナー「“海外で働くこと”を決めた私の体験談」をオンラインで開催しました。

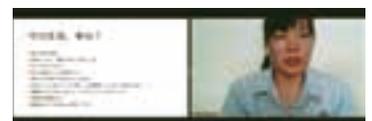
JICAニジェール支所の山本主税さんと、ブルンジに永住した唯一の日本人であるドゥサベ友香さんを講師に迎え、学生から社会人経験を経て、現在行っている仕事内容や何故その仕事をするようになったのかを分かりやすく説明していただいたあと、“海外で働く”ことに慣れるためのステップや学生のうちに行っておくべきことについてお話いただきました。

質疑応答の時間では、参加者から多くの質問が寄せられ、「自分の強みや専門知識を持ってから海外で働くことが大事ということを知れた」「発展途上国で国際教育開発をしてみたい！」などの感想がありました。

今回のセミナーを聞いて、今出来ること（国際関係のイベントに参加等）を積極的に行い、自分が何に興味があるのか実際に体験して知ることで、皆さんの将来の選択肢が広がれば幸いです。



JICAニジェール支所 山本主税氏



ドゥサベ友香氏

*セミナー動画は
こちらから▶



交流部

Report 7 令和6年度 渡日等後期留学生奨学金決定通知書授与式及び第2回奨学生交流会

12月4日（水）に、渡日等後期留学生奨学金決定通知書授与式及び第2回奨学生交流会をTKPガーデンシティ広島にて開催しました。渡日等後期奨学金は、10月から広島県内の大学に入学されてきた方（秋入学者）を対象としており、今回5名の私費留学生に支給を行う運びとなりました。また、交流会は奨学生と協力企業・団体の皆様との交流促進を目的としており、年2回開催しています。

奨学金決定通知書授与式では、奨学金選考委員である広島経済大学名誉教授の上田みどり先生から留学生へ奨学金決定通知書の授与を行っていただきました。

その後行われた交流会では、テーブルごとに様々な出身国の学生が母国や広島での留学生活についての話をし、とても盛り上がっていました。

交流会の途中には、株式会社アスティ様ご支援のスリランカ出身の奨学生による母国紹介と株式会社広島銀行様ご支援の中国出身の奨学生によるひょうたん笛と竹笛の演奏を行っていただきました。

母国紹介では、日本では考えられないバス事情の話で会場から笑いがおこり、芸能披露では、中国の曲を2曲演奏していただき会場は素敵な音色に包まれました。

奨学生の皆さんは、今回の出会いを大切に、また多くの方々の気持ちの詰まった奨学金を大切に活用して、勉強に励み、広島と母国との架け橋となるような活躍をされることを期待しています！

● 奨学金決定通知書授与式



上田先生と渡日等後期奨学生5名

● 第2回奨学生交流会



交流会の様子①



交流会の様子②

● 奨学生による披露



スリランカ出身の奨学生による母国紹介



中国出身の奨学生による芸能披露



とても素敵な披露ありがとう

交流部

Report 8 アラブ料理とシリアの文化に触れるひととき

2月11日（火・祝）に、「料理教室&異文化理解～アラブ料理と中東文化を知ろう♪～」を開催しました。講師には、シリア出身のアル ファッラージュ ズィヤードさんと、ウラー アル ナセルさんをお招きし、本場のアラブ料理を伝授していただきました。

今回作ったのは、アラブ料理を代表する家庭料理「マクルーバ」と、アラブ風サラダ。「マクルーバ」は、スパイスで煮込んだ鶏肉に、バスマティ米と野菜と一緒に炊き上げるアラブ版炊き込みご飯です。「マクルーバ」（＝日本語で「ひっくり返す」）は、鍋をひっくり返してお皿に盛り付けることから、この名前が付けられました。参加者の皆さんも、大きな鍋を豪快にひっくり返して挑戦しましたが、成功すると歓声があがり、大いに盛り上がりました。

試食中のミニ講座では、シリアの文化や宗教のことなどを分かりやすく紹介していただき、参加者の皆さんからも多くの質問があがりました。参加者同士の交流や異文化理解も深まる有意義なイベントとなりました。



講師と交流しながら楽しく調理♪



鍋をひっくり返して盛り付けに挑戦



マクルーバとアラブ風サラダ

交流部

Report 9 北広島町で高校生と交流イベント

2月13日（木）に、北広島町にある広島県立加計高等学校芸北分校を訪問し、交流イベントを開催しました。広島県内在住の外国人30名（15か国・地域）に参加いただきました。

午前は交流会を行い、神楽部の生徒さんによる神楽を鑑賞したり、小道具を持って写真撮影をしたりしました。また、参加者による外国芸能の披露では、インドやカンボジアのダンスと一緒に踊り、大変盛り上がりました。また衣装を着てコーランの朗読を披露してくれた参加者もあり、いろいろな文化を体感できる時間となりました。

午後は生徒さんと一緒に雪遊びを体験しました。雪合戦では生徒さんとチームを組み、白熱した試合となりました。また坂を利用した雪の滑り台や雪だるまづくりなど、それぞれ雪遊びを満喫しました。



神楽の小道具を持って



雪合戦

交流部

Report 10 外国人留学生と企業の気軽な交流会

2月7日（金）に広島市留学生会館で交流会を開催し、広島をメインとした企業様16社20名と留学生20名が参加しました。

第一部は、企業同士の交流会を行いました。外国人を雇用している企業、これから雇用を考えている企業等、異業種の企業担当者がそれぞれの立場で、雇用状況や採用前後の悩みや課題を共有し合う情報交換会となりました。

第二部の留学生と企業の交流会では、グループに分かれ、テーマに沿ったディスカッションを行いました。ディスカッション前には、留学生が企業の方からマナーを教わりながら、名刺交換を行いました。席はテーマごとにローテーションし、参加者全員と交流する時間を設けました。最初は緊張気味だった留学生も、次第に場の雰囲気にも慣れ、企業の方との対話を楽しんでいました。

この交流会を通して、留学生と企業の相互理解が深まり、留学生にとっては、日本、そして広島での就職を目指すきっかけとなれば嬉しいです！

ご参加くださった企業の皆様、ありがとうございました。 楽しく対話



楽しく対話



名刺交換の様子



交流会の様子

交流部

Report 11 “ひろしま”で働こう!就職活動がスタート

3月7日（金）に広島市留学生会館で、外国人留学生に特化した合同企業説明会を開催しました。外国人留学生の採用に積極的な企業29社が出展し、外国人留学生は17か国56名が参加しました。

合同企業説明会前には、外国人留学生向けに約30分間のセミナーを行い、選考の流れについて等の就職活動において大事なポイントを講師からお話いただきました。

合同企業説明会では、各企業がブースに分かれて会社概要や採用情報の説明を行い、熱心に企業担当者の説明を聞いたり、質問をしたりする外国人留学生の姿が印象的でした。

また、会場には外国人留学生や企業の方からの相談を受けられるように、キャリアコンサルタント、ハローワーク、広島出入国在留管理局の専門相談ブースを設置し、具体的なアドバイスを受けていました。

留学生の皆さん、就職活動が上手くいくこと、そして広島で一緒に働けることを楽しみにしています！



留学生向けセミナー



気になる企業に訪問！



説明を熱心に聞いている学生たち

交流部

Report 12 パレスチナの平和を考えるオンライン講座を開催しました

10月6日（日）、第2回 国際理解講座「ヒロシマからパレスチナと平和を考える」をオンラインで開催しました。武田中学校 武田高等学校教員のアシュリ・サウザーさんと、サラーム（パレスチナの女性を支援する会、広島市西区）の水本敏子さんを講師に迎え、パレスチナ問題の歴史的背景や対立の原因、現地の人々の様子などについてご講演いただき、広島県内の中高生や大学生を中心に、57人の方にご参加いただきました。

講師はお二人とも現地で生活した経験があり、パレスチナとイスラエルの国境に8メートル以上の大きな分離壁・監視塔があることや、現地の人々の暮らしなどニュースだけでは知ることのできない実態をお話いただきました。

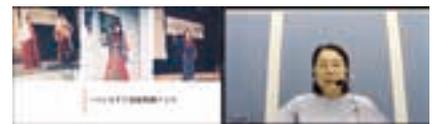
参加者からは、多くの質問が寄せられ、「今自分が教育を受けられる幸せを改めて実感した」「この講演をきっかけに実際に行動を起こしたい」などの感想がありました。



受講の様子



武田中学校 武田高等学校 アシュリ・サウザー氏



サラーム 水本敏子氏



私たちの仕事はライフアドバイザー

「お部屋探しのベストパートナー」をモットーに、お客様に喜んでいただける、お部屋探しを追求しています。



日本で新しい生活を始めようとしている様々な国籍の方や新しい部屋にお引越ししたいお客様に対応する国際営業チームで働いています。株式会社良和ハウスの国際営業チームでは7か国語（英語・中国語・ベトナム語・ネパール語・シンハラ語・ヒンディー語・日本語）を使い、言語力を活かしてお客様にわかりやすく説明し、日本での生活に必要なサポートを提供します。

お客様との信頼関係を大切に、しっかりとコミュニケーションを取りながら、ニーズに合った物件を探すために全力で取り組む仕事です！

株式会社良和ハウスで働いている元外国人留学生の先輩たちに4つの質問をしました♪

- ① 現在の部署と担当しているお仕事を教えてください。
- ② 仕事のやりがい教えてください。
- ③ 休日はどのように過ごしていますか？
- ④ 就職活動を始めた時期はいつですか？



ショウ コウナン
焦 皓楠 さん(中国)

- ① 賃貸営業部国際営業チームで営業と事務をしており、主に中国のお客様の対応をしています。
- ② 大学の先生からも、留学生のサポートを依頼されることがあります。中国では家具付き物件が多く、礼金という仕組みはありません。このように中国との違いを知ってもらう必要があります。また、入居後のサポートも行うことで、留学生からも先生からもお礼を言われることが嬉しいです。
- ③ 自宅で動画鑑賞をしています。
- ④ 修士2年生から始めました。中国では、卒業の3ヶ月前頃から始めるのが一般的ですけどね。



グルン シマ
Gurung Sima さん(ネパール)

- ① 賃貸営業部国際営業チームで営業と事務をしています。主にネパール、インド、その他アジア地域のお客様の対応をしています。
- ② お客様の厳しい要望をクリアできた時です！また、電気・ガス・水道が止まったお客様が助けを求めてきて、手続きのサポートをしたら感謝されたことです。
- ③ 買い物をしたり、同僚と食事したりしています。
- ④ 私は専門学校を卒業しました。就職活動は2年生の5月頃から始めました。あとは、JLPT試験の勉強を頑張りました！



ダヌシ タマンジャリー
Danushi Thamanjalee さん(スリランカ)

- ① 賃貸営業部国際営業チームで営業と事務をしています。現在はシンハラ語での対応はなく、主に英語圏のお客様の対応をしています。
- ② 私は入社して半年のため、まだ実績は多くありませんが、先輩たちが丁寧に仕事を教えてくださるので、3件契約することができました！また、お客様に丁寧に説明をしたことで、お礼を言ってもらえて嬉しかったです。
- ③ 買い物をしたり、同僚と食事したりしています。
- ④ 学部3年生から始めました。また、平和関連の団体にインターンシップで1年間行きました。

ひろしま国際センター研修部で実施した
 プログラム・取組をご紹介します。

その1 令和6年度広島県海外日本語教師養成研修【広島県からの受託事業】

本研修は、インドネシアとベトナムの日本語教師各3名を広島へ招へいし、日本語教授法及び日本語運用能力の向上や、県内の留学環境の理解促進のための取組を行うことを目的として実施しました。研修員は、10月下旬から12月中旬までの約2か月間にわたり、授業改善等に関する講義を受け、日本事情の授業では縮景園の見学やお弁当作りにも挑戦しました。研修員のお一人は、広島の大学や企業と日本語を勉強している学生たちをつなぐ架け橋になりたいとの思いを話されていました。



その2 2024 St. Bernard's College 日本文化体験研修

9月20日（金）～23日（月）の4日間、オーストラリアのSt. Bernard's Collegeから参加者19名をお迎えして日本文化体験研修を実施しました。中でも安芸郡熊野町の筆まつりでは、彼岸船保存会のご協力のもと、巨大な船を引いて町内を練り歩き、船を榊山神社境内に奉納するという体験をしました。奉納後は福まきに参加し、盛大にまかれた紅白の餅やお菓子をいただきました。日本の伝統文化と熊野町の皆様の優しさに触れ、研修員にとって忘れがたい経験となりました。



その3 令和6年度広島県在外県人会後継者育成支援及びグアナファト州青少年交流事業【広島県からの受託事業】

広島県が招待した在外広島県人会の青少年と、広島県との友好提携10周年を迎えたメキシコ・グアナファト州の高校生を対象に、ホームステイや高校訪問など交流を中心とした体験型の合同研修を実施しました。8月6日（火）には、平和記念式典参列後、湯崎知事を表敬訪問し、広島県ユース親善大使に委嘱されました。参加者は、「帰国後は地元で平和促進活動をする」と決意し、本研修は、相互の友好交流の推進と平和希求活動のネットワーク強化の契機となりました。



その4 サイエンスパーク施設公開 みんな集まれ! JICAで世界とつながろう!【JICA中国からの受託事業】

8月7日（水）、ひろしま国際プラザを舞台に、開発途上国や国際協力への関心・理解を促すためのイベントを実施しました。9か国15名の研修員が民族衣装をまとってのワールドファッションショー、キルギスの楽器コムズの演奏とキルギスでの一村一品である羊毛フェルトを使ったマスコット作り、世界のクイズなどで盛り上がりました。参加者は396人にのぼり、「東広島にこんな楽しいスポットがあることを知らなかった」「キルギスに親近感がわいた」などの感想をいただきました。



Hello Hiroshima

Vol.126 April 2025

Hello Hiroshima, Edward here!

Edward

(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

Looks like the new year is upon us! I hope everyone enjoyed the new year's festivities. What sort of plans does everyone have for this year?

This year is quite special for Japan. In Hiroshima, it will be the 80th memorial of the atomic bombing. I expect many events will be held in commemoration of such a historic time. In Osaka, the world expo is being held. Osaka prefecture was also the host of the first world expo held in Japan in 1970, though at that time it was held in the city of Suita. The 1970 expo had a theme of Progress and Harmony for Mankind, whereas this expo has a theme of "Designing Future Society for Our Lives." Befitting such a theme, the expo has a Future Society Showcase, which contains exhibits that are future-oriented, such as showcasing innovative modes of transportation, virtual reality, and digitally enhanced services such as AI-powered information guidance apps and automatic translation systems.

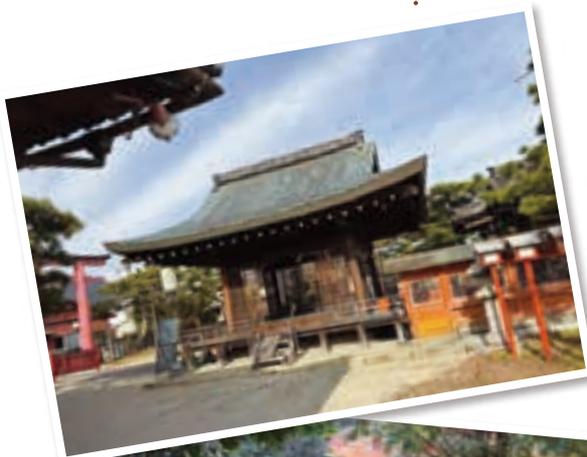
This expo contains new technologies, innovations, and ideas never seen before, and people from around the world gather to exchange ideas on building a future society for the creation of new ideas that realize a future society that offers a bright future for all.

Apart from Japan, the expo will also provide a platform for 150 countries and 25 international organizations and several other entities to share their vision for achieving Sustainable Development Goals and the future.

I am quite excited to visit the world expo. Given how often AI is mentioned in the news, it will be exciting to see it in action. Likewise, I am looking forward to trying the VR exhibits. I wonder how much of what we see at the expo will become commonplace given some time. Technologies that we view as commonplace nowadays such as the telephone, television, and X-ray machines made their debut at a world expo. I am sure at the time those technologies were seen as futuristic just as we view AI and VR now. It will be interesting to see the day technologies such as AI and VR are no longer considered futuristic.

The expo will be from April to October, which means there will be plenty of time to visit. Hope to see you there!

*I haven't gone to the expo yet,
so here are some pictures of
my travels around Japan instead 😊*



JICA海外協力隊

広島から世界へ！いつか世界を変える力になる！

広島から世界へ！2025年1月末日現在、広島県から派遣のJICA海外協力隊21名が世界で活躍しています！



JICA海外協力隊60周年&2025年度春募集中です
人生なんてきっかけひとつ！あなたも挑戦してみませんか？

2025年3月21日(金)
2025年5月9日(金)

JICA海外協力隊は2025年で発足60年を迎えます。60年間の派遣国累計は99か国、派遣隊員累計は57,000人を超えました。60周年のテーマは「世界と日本を変える力」、JICAは60周年記念各種企画を通じて、世界と日本に変革をもたらすJICA海外協力隊の姿をお届けします！

2025年3月21日(金)から、派遣期間2年間の長期派遣募集が始まりました！「自分の技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい！」という意志を持つ20歳～69歳の日本国籍を持つ方が対象です。隊員活動では、衣食住を現地の人とともにしながら互いに理解を深め、途上国の課題解決に取り組みます。なお派遣前には訓練があり、言語習得に向けた研修や現地での安全対策もしっかり学べます。JICA海外協力隊に参加するには、特別な経験や豊富な知識が必須と思われるがちですが、大学在学中に休学されて参加される方や、大学卒業後すぐに参加される方、数年の社会人経験を経て派遣される方も多くいらっしゃいます。

今の自分を変えてみたい。せつかつならドキドキすることをしてみたい。そう思ったことはありませんか？ JICA海外協力隊なら、好奇心を刺激してくれる経験が必ず見つかるはず。人生なんてきっかけひとつ！少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度ホームページをご覧ください！



終戦・被爆80年に寄せて～JICAの平和への取り組み～

終戦80年を迎える2025年8月、広島・長崎もまた、被爆80年を迎えます。日本は、戦後、世界中からの支援により目覚ましい復興、そして発展を遂げました。私たちの今の平和は過去の世界の支援の上になりたっている、その感謝を胸に、日本は途上国支援を行っており、JICAでは、アフガニスタン、イラク、シエラレオネ、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、シリア、南スーダン、ミャンマーなど、紛争影響国の復興支援や人材育成プログラムの中で、広島をはじめとする日本の復興経験を伝えてきました。

研修や留学で広島にきた研修員、特に紛争影響国から来日して広島での復興の様子を目の当たりにした研修員は、人間は何故、同じ人間の行為によって苦しめないといけないのか、と戦争の無常さに涙する一方で、



広島市民が一体となって平和をもたらしたことを知り、自分たちも広島のように必ず復興を成し遂げようという勇気づけられたといい、母国での復興に尽力しています。

JICA中国では市民を対象としたプログラムも実施して

ます。多くの方々に、世界で起きている紛争の実情を知ってもらう機会として、紛争影響国から来日中の研修員を講師に迎え、講師の国の紛争の状況や学び、平和への想いを共有しあう「HIROSHIMAピーストーク」を実施しています。このピーストークは、学校教育に平和学習が組み込まれ平和構築への関心が高い広島市民との対話を通じて研修員の学びの場となると同時に、参加市民にとっても世界各国の平和に向けた取り組みへの理解促進の機会となっています。

他にも、広島市と協力して、広島から開発途上国に派遣されるJICA海外協力隊員を対象に、派遣前に平和学習の機会を設け、派遣国での原爆展の実施などの平和活動もサポートしています。2023年のG7サミットや、2024年のノーベル平和賞受賞で、広島はますます注目を集めています。終戦80年、日本では戦争経験者の記憶の継承が課題となる一方、世界ではいまだに紛争で苦しむ人たちがいます。平和な世界を実現することは容易ではありませんが、行政から市民まで、世界中で地道な努力を継続することで、国や立場の理解を乗り越えていけるのではないかと、その思いからJICA中国ではこれからも平和な世界の実現に向けて、広島から世界に向けて平和の取り組みを発信していきます。

JICA中国の平和への取り組みはこちら



「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

ホアン・ティ・リン

HIC article: Hoang Thi Linhさん(ベトナム)

Living at the Hiroshima International Plaza (=HIP) as a GRP member has been an incredibly fulfilling experience, providing countless opportunities for personal growth. One of the greatest aspects of my stay here has been the chance to improve my English. Surrounded by people from all over the world, I've had constant practice in communicating in English. The international environment has pushed me to become more confident in my language skills while also making me more aware of various accents and expressions. This has broadened my understanding of the language and its nuances.

Another rewarding aspect of my time here has been the wide range of programs offered. I've had the chance to participate in numerous activities that encouraged me to interact not only with Japanese students but also with local residents. These programs have been a fantastic way to meet new people and learn more about Japanese culture, helping

me to integrate and feel more connected to the community.

The support from the staff at HIP has also been exceptional. From the very beginning, they have been incredibly responsive and eager to assist with any questions or issues that arose. I truly appreciate their unwavering support, and I honestly don't know how to express my gratitude enough. Looking back, my time here has been an invaluable chapter in my life. Not only have I improved my English, made lasting friendships, and experienced life in a global community, but I have also gained a deeper understanding of the world. The continuous support from the staff, the opportunities to engage with people from different cultures, and the chance to grow both personally and academically have made my stay at the Hiroshima International Plaza an unforgettable experience. I'm thankful for everything I've learned and the connections I've made during my stay here.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的とした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国15名の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊870円 管理費3,500円/月
月額27,860円~30,470円(水道光熱費込み)
★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

外国人留学生奨学金への寄付を募集しています

外国人留学生への温かいご支援を
お待ちしております。

当センターでは、企業・団体や県民の皆様からのご寄付を受けて、県内の私費外国人留学生に奨学金を支給しています。(令和6年度の実績:53名(内訳:企業等奨学金38名、センター奨学金3名、県民支援2名、渡日等留学生支援に係る奨学金10名))

外国人留学生の多くは、アルバイトをしながら勉学に励んでいますが、アルバイトの時間も法令により制限があり、また特に大学院の学生は研究や論文作成でとても忙しいことから生活費のやりくりには苦労しているため、奨学金は留学生にとって大きな支えとなっています。

ひろしま国際センター 奨学生交流会



令和6年度奨学金決定通知書授与式

企業・団体の協力による奨学金 1口 370,000円 県民の協力による奨学金 1口 5,000円

※口数の制限はありません。
留学生には月額30,000円を1年間支給致します。

交流部&留学生生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間
月~金 10:00~19:00 土 9:30~18:00
日・祝日および年末年始(12/28~1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間 [情報センター・図書室]
月~金 10:30~12:30、13:30~19:00
土・祝日 10:30~19:00
※日曜および年末年始(12/29~1/3)はお休みです。
※その他、臨時休室の場合は、HPで随時お知らせします。

